

2025年4月入校生募集

都立職業能力開発センターは、新たに職業に就かれる方、求職中の方、転職を希望している方を対象に、就職に向けて、職業に必要な知識・技能を習得していただくための施設です。

募 集 期 間

令和7年1月7日(火)～令和7年1月31日(金)

※ 受付時間については、ハローワーク、各職業能力開発センター（校）ともに平日の8時30分から17時15分までとなります。（ただし、新宿わかものハローワークは平日の10時から18時まで）

※ 募集期間中、各職業能力開発センター（校）では見学会を実施します。（詳細は2ページをご覧ください。）

募 集 科 目

募集科目一覧のとおり

※ 募集科目一覧（4～11ページ）の中から、あなたの希望する科目とそれを実施する職業能力開発センター（校）を1つ選んでください。

（他の公共職業訓練との併願、都内複数校、複数科目の応募はできません。また求職者支援訓練との併願もできません。）

- ・ 授業料が有料の科目と無料の科目があります。（詳細は4～11ページをご覧ください。）
- ・ 教科書代は自己負担です。（作業服代等の自己負担が一部の科目にあります。）
- ・ ご自宅のインターネット環境やPC・スマホ等により受講するオンライン訓練を一部カリキュラムで実施する場合があります。
- ・ 訓練期間中の保育サービスをご希望の方は「都立職業能力開発センター職業訓練中の保育サービス提供のご案内リーフレット」またはホームページ「TOKYOはたらくネット」をご参照ください。

申 込 み

住所地を管轄するハローワーク（公共職業安定所）または各職業能力開発センター（校）へ

※ 郵送では受付できません。本人が直接申し込んでください。

※ 申込みには写真（縦3cm×横2.4cm）が必要です。

※ 原則、受講開始日から遡って過去1年以内に公共職業訓練及び求職者支援訓練の実践コースを受講したことがない方が対象です。

※ 入校願書はハローワーク（公共職業安定所）、各職業能力開発センター（校）で配布します。

※ 提出された応募書類は返却しません。ご了承ください。

以下の項目に1つでも該当する方は、必ずご自分の住所地を管轄するハローワークに事前相談の上、申し込んでください。

- ① 雇用保険受給資格者
- ② 障害のある方〔身体障害者手帳・療育手帳（愛の手帳）、精神障害者保健福祉手帳等の所持者〕
- ③ 母子家庭のお母さん等
- ④ 求職者支援制度による職業訓練受講給付の要件を満たす方（詳細は16ページをご覧ください。更に詳しく内容を知りたい方は、住所地を管轄するハローワークにお問い合わせください。）

見学会

令和7年1月9日(木)、1月16日(木)、1月23日(木)、1月30日(木)
各日とも、午後2時集合(予約不要)

見学会では、各科目の詳しい説明を行います。

見学を希望する科目を実施する職業能力開発センター(校)に、直接お越しください。

※見学終了後に、個別相談を行った雇用保険受給者の方は、求職者活動実績として認められます。

選考

令和7年2月12日(水)、13日(木)、14日(金)のいずれか1日 ※選考日は受験科目によって異なります。
3ページでご確認ください。

午前9時15分 (受付は午前8時45分～ ※台東分校のみ午前9時00分～)

入校希望の職業能力開発センター(校)で、以下の選考を行います。

- ・学力検査(国語・数学／高等学校卒業程度)または 筆記試験(国語・数学／義務教育修了程度)
- ・面接

※台東分校のみ集合場所兼学力検査会場は台東区民会館8階第2会議室(台東区花川戸2-6-5)。学力検査終了後の面接会場は台東分校。

※学力検査・筆記試験では訓練に必要な受講能力を、面接では受講意欲や就職意欲等を確認し、総合的に判断して可否を決定します。

※エンジニア基礎養成科(7ページ)は、面接のみ実施します。

合格発表

令和7年2月21日(金)

入校

令和7年4月7日(月)

※入校にあたっては、指定された期日に健康診断書の提出が必要となります。

訓練終了

2年制訓練：令和9年3月25日(木)

1年制訓練：令和8年3月25日(水)

6か月訓練：令和7年9月26日(金)

4か月訓練：令和7年7月25日(金)

3か月訓練：令和7年6月26日(木)

※自動車整備工学科、自動車車体整備科の修了日は異なります。

ホームページ

TOKYOはたらくネット

各科目のご案内等を掲載しています。

<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/kyushokusha-kunren/school/>



お問合せ先

お問合せ内容	お問合せ先
各科目の訓練内容の詳細について	各科目を実施する職業能力開発センター(校) (電話番号等は15ページの所在地一覧に掲載しています。)
都立職業能力開発センターの職業訓練全般について	東京都 産業労働局 雇用就業部 能力開発課 電話 03(5320)4716
雇用保険(失業給付)について 受講指示・受講推薦・支援指示の要件について 求職者支援制度(職業訓練受講給付)について	住所地を管轄するハローワーク (電話番号等は14ページの所在地一覧に掲載しています。)

選考日時一覧

選考実施 センター（校）	選考日時		
	2月12日(水)	2月13日(木)	2月14日(金)
	午前9時15分（受付：午前8時45分（台東分校のみ、午前9時00分～））		
中央・城北職業能力 開発センター	パソコングラフィック OAシステム開発 マルチプリンティング	メディアプロモーション	DTP
しごとセンター校	ホテル・レストランサービス 生活サポート		
高年齢者校	和装技術	ビルクリーニング管理 設備保全 マンション維持管理	
板橋校	機械加工 自動車車体整備（期間短縮コース含む） ネットワークプログラミング IoTシステム サイン・ディスプレイ	介護サービス 三次元CAD プラスチック成形・デザイン	
赤羽校	電気工事 測量設計 環境空調サービス	建築CAD 電気設備保全	Web設計
城南職業能力開発 センター	木工技術 インテリア設計施工 電気工事 OAシステム開発	U-30建築塗装 配管 マンション改修施工	
大田校	3DCAD・CAM 広告美術	調理 板金溶接 施設警備 デジタルクラフト	
城東職業能力開発 センター	木工技術 電気工事 アパレルパタンナー	溶接 電気設備管理 住宅内外装仕上 U-30トータルペイント	建築設備施工 介護福祉用具 ビル管理 エンジニア基礎養成
江戸川校	メカトロニクス 自動車整備工学 測定データプログラミング 3DCAD・CAM実践	介護サービス グリーンエクステリア クリーンスタッフ養成	
台東分校		製くつ	
多摩職業能力開発 センター	自動車塗装 電気工事 精密加工 水まわりスペシャリスト U-30溶接 造園土木施工	住宅リフォーム 三次元CAD 調理	ビル管理 庭園施工管理
八王子校	メカトロニクス 自動車整備工学 電気設備システム	介護サービス 福祉用具 電気設備管理	
府中校	電気設備技術 ネットワーク施工 電気・通信工事 セキュリティサービス	介護サービス クリーンスタッフ養成 生活支援サービス	

募集科目一覧

< 授業料等有料の科目(※1) >

※1 以下の「授業料等について」をご参照ください。

訓練時間
午前9時05分～午後4時45分（土・祝日休み）

□■ 授業料等について ■□

○ 授業料について

授業料は、年額**118,800円**です。（原則、前期と後期の2回に分けて納付／授業料は改定になる場合があります。）
なお、授業料の減免制度があります。詳細は各職業能力開発センター（校）又は産業労働局雇用就業部能力開発課へお問い合わせください。
教科書代は自己負担です。（作業服代等の自己負担が一部の科目にあります。）

○ 入校選考料について

- ①お申し込みの際は、ハローワーク又は職業能力開発センター（校）で、「入校選考料 納付書」を受け取り、入校選考料1,700円を金融機関等にて納付してください。（納付期限がありますのでご注意ください。）
- ②入校選考料納付後は、領収証書（入校選考料払込証明書）を入校願書（普通課程）に貼付し、ハローワーク又は職業能力開発センター（校）にお申し込みください。

I おおむね30歳以下(※2)の方で、義務教育修了程度の学力のある方が対象のコース（筆記試験）

※2 原則、入校日現在35歳以下の方が対象

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
2年	機 械 加 工	機械加工科は、各種工作機械を使用して、金属加工を中心としたものづくり技術を習得する訓練科です。訓練では、旋盤、フライス盤、ボール盤、研削盤などの汎用機械や、マシニングセンタ、NC旋盤、ワイヤカット放電加工機などのNC工作機械、さらに最新の3DCAD/CAM加工までの様々な機械加工に関する基礎知識と技術を習得することができます。その他、国家資格となる技能検定受検や、全国大会である若年者ものづくり競技大会への参加などの取り組みをしています。	板橋校・25名・（0.2）

II おおむね30歳以下(※2)の方で、高等学校卒業程度の基礎学力のある方が対象のコース（学力検査）

※2 原則、入校日現在35歳以下の方が対象

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
2年	メカトロニクス	メカトロニクス科では、工場内で稼働する自動生産設備を「作る」「動かす」「直す」技術を身に付けることができます。「作る」要素では、部品の設計や金属加工、機器の組立について学びます。「動かす」要素では、モータやセンサを使うための電子回路設計・製作、それらをコントロールするプログラムの作成について学びます。「直す」要素では、機械の保守や回路・プログラムの修正について学びます。学習する範囲は、目で見てわかる比較的易しい内容から高度な内容まで、非常に幅広いものとなっています。これだけ幅広い内容ですから、就職先の企業の業務内容もいろいろな仕事があります。2年間学習する中で、自分の適性に合った職種、業務を選択して、就職することが可能です。	江戸川校・28名・（0.1） 八王子校・26名・（0.3）
	自動車整備工学 ※学校教育法による高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の者が対象	現在、日本国内では約8000万台の車両が運行し、その保守管理は自動車整備士が担っています。また、環境性能や省燃費性を追求したエコカーが販売の主流となっている昨今、自動車整備士に求められる知識や技能は一層高度化しています。このような状況を踏まえて、当科では自動車整備の基本からハイブリッド車のような最新技術まで幅広く習得し、企業で即戦力となる二級整備士の育成を目標としています。	江戸川校・22名・（0.5） 八王子校・21名・（0.5）
	自動車車体整備	近年、自動車の高性能化が進み高度な整備技術が要求され、また、地球環境への配慮が必要とされる中で、安全で快適な車社会を確保するために、自動車整備士や自動車車体整備士の役割はますます重要になっています。当科では、板金塗装の専門技術を身につけることを目標とし、自動車整備の専門知識と、点検整備要領、故障診断等の技能を習得した上で、板金及び塗装要領、車体修正技術を中心に、自ら考え、発展できる複合技術を身につけた自動車車体整備士を養成します。	板橋校・30名・（0.3）
1年	自動車車体整備 （期間短縮コース） ※一種養成施設の2級又は3級自動車整備士養成課程修了者が対象	※自動車車体整備科の2年次訓練定員の空き枠の範囲内で実施。	板橋校・28名・（－）
	精 密 加 工	自動車、飛行機、電車などの輸送機械、医療機械や機器、半導体製造装置などは金属を削りだして部品が作り出されて製品として成り立っています。当科では図面の読み方、書き方を3D・CADを使用しながら身に付け、NC工作機械を使用しての加工技能の習得、組立及び精密測定、製品評価までの一連のものづくり知識と技能の習得を目指しています。部品を作り出す技能と関連知識を得ることで機械部品製造業、金属部品製造業、輸送機械製造業などの、ものづくり企業に就職できる人材を養成しています。	多摩センター・15名・（0.1）
	木 工 技 術	現在、家具業界では、消費者の多様なニーズに応えるために優秀な技術や技能を有している人材を確保しています。特に、基礎技術を保有している若い人材を採用し、企業で育成する傾向にあります。 当科では、木製の箱物家具（箆笥・書棚・食器棚など）製作を主体に、設計図の描き方や読み方、構造工作、木材の性質、木工機械の取り扱い方と調整を学び、実習では、部材の木取り、墨付け、加工、組み立て、仕上げ（塗装）を行い、家具製作に必要な知識と技術を習得することを目的としています。	城南センター・28名・（0.4） 城東センター・29名・（0.5）

募集科目一覧

Ⅱ おおむね30歳以下で、高等学校卒業程度の基礎学力のある方が対象のコース※前頁からの続き

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
1 年	インテリア設計施工	近年、建設業界において、住宅建築や商業建築等のリフォーム・リノベーション市場の拡大や建設技能者・技術者不足への対応が求められています。インテリア設計施工科では、私たちの生活と密接に関わる住宅建築や商業建築等の”内装設計”に関する知識・技能と、天井・壁・床等の”内装施工”に関する知識・技能の両方を幅広く学び、業界就職を目指します。訓練では、建築に関する基礎的な知識をはじめ、製図・CAD等による内装設計技術、模擬ブース等による内装施工（壁・床・天井）に関する実践的な技能・技術を習得します	城南センター・28名・（0.2）
	電 気 工 事	電気は私たちの快適な生活に欠かすことができません。一戸建て住宅等にある電灯・コンセントの電気工事作業に従事するには、電気工事士の資格が必要です。当科は経済産業省の養成施設に指定されており、修了後は電気工事に必要な第二種電気工事士免状が取得できます。指導員、講師の長年にわたり培ったノウハウによる分かりやすい指導で、電気工事士として必要な知識と技能を習得します。	赤羽校・30名・（0.3） 城南センター・27名・（0.1） 城東センター・29名・（0.5） 多摩センター・25名・（0.3）
	電 気 設 備 技 術	発電から送配電、電気を使用する機器までの一連を電気設備といいます。電気設備業界は常に人手不足の状態にあります。「電気は見えない」「感電すると危ない」「数学が苦手」などの理由から電気設備業界への就業をためらう人が多いからだと思います。電気設備技術科では、電気の安全な取り扱い方を学べ、数学の苦手な方も安心して就業できるようにお手伝いいたします。電気設備は現代において必要不可欠なものです。当科で学ぶ電気の基礎や実習は求人企業に高い評価を受けています。電気設備業界への就業はほとんどが正社員であり、同業界内での転職時は経験者として採用されるので、安定した職業人生を過ごすことができます。	府中校・30名・（0.2）
	自 動 車 塗 装	当科では、自動車の凹み、傷を直す軽板金や自動車塗装（補修塗装～全塗装）の技術を習得し、自動車钣金塗装業をはじめとする塗装企業に就職することができます。訓練では、安全に関することから、塗装する素材、塗料、デザイン等の座学と、金属・木工・建築塗装の実技を学びます。その後、自動車钣金塗装の訓練に進み、軽板金による車体の修理、メタリック・パール等の塗料を用いた様々な塗装法、デザイン塗装、特殊な塗料を用いたカスタムペイント等、自動車に関わる幅広い塗装を学びます。さらに、塗装作業に必要な資格である危険物取扱者乙種4類・カラーコーディネーター等の関連する資格取得対策も行い、資格取得を目指します。	多摩センター・28名・（0.1）
	パソコングラフィック	パソコングラフィック科では、写真・図形・文字それぞれの原稿をコンピュータを使用して組み合わせ、チラシやリーフレット、カタログなどの商業印刷物のデータを作成するために必要な知識と技能を習得します。これらの作業はDesktop Publishingと言い、DTPと呼ばれています。MacやWindowsで画像処理した画像や地図・アイコンなどを文字と組み合わせ、読みやすくレイアウトを行います。また、印刷用のデジタルデータをWebサイトや電子書籍などの他のメディアに変換させる訓練も行うためにHTMLやCSSの授業もあります。就業経験のない方も多いため、就職活動の指導や社会人マナー及びビジネスコミュニケーションについても訓練を行っています。	中央・城北センター・28名・（0.5）
	ＯＡシステム開発	ショッピングサイトで買い物をしたり、ネット銀行で振込をしたことがある人は多いと思います。このようなシステムは、どのような仕組みで動いているのでしょうか？OAシステム開発科では、このようなシステムをプログラミングによって作る技術者の養成を行っています。企業などで行われている仕事の流れをコンピュータ化（自動化）する各種業務システムの開発技術者（プログラマー）を目指します。訓練はパソコンの基本操作から始まり、プログラミング技術の基礎としてC言語を学びます。そしてショッピングサイトや業務システムを作るために必要なJavaなどのプログラミング技術を習得します。またネットワークの理解を深めるためにパソコン同士をつないで、サーバーの設定を体験したりするなど、ネットワーク技術も学ぶことができます。	中央・城北センター・23名・（0.5） 城南センター・30名・（0.1）
	ＩｏＴシステム	近年、自動車やスマートフォン、家電製品などの身近な工業製品はインターネットにつながることで、我々の生活をより便利なものにしてくれています。当科は、これらIoT関連の技術者に求められる、センサー、LEDなどのハードウェアに関する知識を身に付け、制御対象物を作り、制御プログラムを作る科目です。	板橋校・30名・（0.3）
	ネットワークプログラミング	近年、ネットショッピング、ネットバンキング、SNSなどを利用することが当たり前になってきました。これらのサービスは、どのようなネットワークやコンピュータシステムによって提供されているのでしょうか。当科では、ネットワークを利用してコンピュータを便利に使う仕組みを構築する技術の習得を目指します。C言語でプログラミングの基本、Javaで応用的なプログラミングを習得します。さらに、企業から依頼を受けたという想定のもと、ショッピングサイトなどが構築できるようになることを目標とします。また、ネットワークへの理解を深めるため、ネットワーク構築の実習もあります。パソコンやネットワーク機器を用いてLANを構築したり、サーバーの設定をしたりして、ネットワークエンジニアの業務について体験することができます。コンピュータが好きで、将来は業務システムの開発の仕事をしたけれど、何から手をつければよいかわからないという人におススメです。エンジニアに求められる能力の習得を目指した訓練により、初めてIT業界で働こうという人のお手伝いをします。	板橋校・26名・（0.4）
	測定データプログラミング	デジタル技術の進展を受け、様々な分野で「データ」を取り扱う技術の重要性が高まっています。当科は、データの測定・加工及び活用を一貫して行える技術・技能を身につけることを目標に訓練を実施します。測定・分析機器を使用した化学実験により、データ取得と活用の概念を理解します。同時に、IT系の技術者に必要となるシステム開発技術を身につけるため、Java言語、データベースと連携したWeb開発、Pythonプログラミング及びネットワーク技術等について訓練を行います。Pythonプログラミングでは、Excelと連携させた実習も行います。これらにより、情報通信産業のみならず、DX化への対応を迫られる各種産業の情報管理部門等への就職を目指します。	江戸川校・23名・（0.2）

募集科目一覧

Ⅲ 高等学校卒業程度の基礎学力のある方が対象のコース（学力検査）

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
1 年	3D C A D・C A M実践	製造業の生産活動では、NC工作機械が主流となっており、これに対応できる人材が求められています。当科目では、図面や機械加工の基本知識から、コンピュータ制御の工作機械、3Dプリンタなど、ものづくりに関する幅広いスキルが習得できます。3Dデータ作成やプログラム作成、ものを作る仕事に関心のある方にマッチする科目です。	江戸川校・20名・(0.4)
	3 D C A D・C A M	ものづくりに必要な図面の作成方法、機械加工の知識、コンピュータで動く工作機械の技能、3Dプリンタなどの活用方法を習得します。様々なものづくりの手法を身に付け幅広く製造業で働ける人材を育成する科目です。訓練は以下のことに重点をおいて実施していきます。 ・3D CADを使用し、コンピュータ上で立体モデルの作成や図面を作成する技能 ・CAMを使いコンピュータで動く工作機械のプログラムを作成する技能 ・コンピュータで動く工作機械を使用するために必要な技能 ・3Dプリンタを利用したものづくりに必要な技能 ・ものづくりに必要な図面から製品制作、測定評価までの技能	大田校・15名・(0.7)
	水まわりスペシャリスト	建築設備業界では職人や現場を統括する施工管理者の不足による人材投入、人々の安全意識高揚に対するリスクマネジメントができる人材の拡充が急務です。この科目では、現場での素養を習熟させるため、基本作業の掘り下げと、より実践的な実習内容（施工管理と現場作業の双方向からの視点を基に、臨場感のある模擬現場実習）の展開、現場作業に必須とされる安全教育の拡充を図っていきます。具体的な訓練内容としては、キッチンやトイレなどの生活に欠かせない「水まわり」に関連する設備を扱う技術者を育成します。また、ICT技術の活用を訓練に取り入れ、時代に沿った訓練を展開していきます。	多摩センター・24名・(0.3)
	広 告 美 術	広告美術（＝看板）科は看板製作やディスプレイ制作に関する仕事に必要な技能を学びます。 IllustratorやPhotoshopなどのグラフィックソフトやCADソフト操作、大判出力機やレーザー加工機等の加工機器操作、アクリル加工や発泡造形制作等、業務に必要な基礎的な知識や技術の習得を目指します	大田校・26名・(0.3)
	サイン・ディスプレイ	私たちの街は、多くのサイン（看板や標識等）やディスプレイ（展示、装飾物）によって彩られています。サイン・ディスプレイ科では、このようなサインやディスプレイのデザイン、設計、製作、施工等の訓練を通して、就職に必要な知識、技能の基礎を学びます	板橋校・30名・(0.2)
	測 量 設 計	トラバース測量、水準測量、細部測量、写真測量等の基本的な測量及び、路線測量、河川測量等の応用測量に関する技術を学んでいきます。また、土木工学概論、土質力学、応用力学等の土木工学に関する基礎を学び、測量業務や土木設計業務などに従事していく上で、必要な実務的知識と技術の修得を目指していきます。	赤羽校・20名・(0.9)
	環 境 空 調 サ ー ビ ス	ビルなどの冷房や暖房をおこなう空調設備のサービスエンジニアとして、機器の選定、設置、保守、修理に必要な知識と技術を習得します。さらに、業務用空調設備の設計、施工、クリーニング作業を身につけ、建築設備だけでなく、機械・電気・建築・環境の知識と技能を総合的に修得した技術者を養成します	赤羽校・30名・(0.2)
	電 気 設 備 シ ス テ ム	生活に不可欠な電気設備の安全を守るために、工事の内容により、一定の資格保有者でなければ、電気工事を行えないことが、法令で定められています。当科は経済産業省の養成施設に指定されており、修了後は二種電気工事士免状が取得できます。学科は理論、法規、施工方法など、実技は電気工事、制御、測定を主に訓練として実施し、現場で役立つ知識や技能を習得します。	八王子校・28名・(0.7)
	マルチプリンティング	近年の印刷業界では効率的な業務対応が求められています。そのため印刷作業ではデジタル化が進み、1人で複数の作業を行う多能工の時代になっています。当科目では、こうした産業構造変化に対応するため印刷のデジタル技術や知識を中心に訓練を行います。また業務初期作業であるDTP（データ作成・編集）から最終作業の製本までの一連の印刷技術を訓練し、印刷業界での求人ニーズが高いマルチな人材（多能工）を育成します。	中央・城北センター・25名・(0.4)
	W e b 設 計	インターネット上の販売サイトや業務システムは、操作が簡単でわかりやすいことが大切です。そのために、ユーザ本位の情報デザインとわかりやすさを提供する画面の設計などが求められ、Webアプリケーションプログラムと連動させます。Web設計科では、インターネットの基礎や、Webプログラミング、データベースなど、インターネットを利用した業務システムの作成・更新などに従事するために必要な実務的知識と技術を習得します。	赤羽校・27名・(0.5)
	和 装 技 術	和服の縫製技能を中心に、材料や道具に関する知識を習得します。また、加工・工程管理・販売・着付けなどの和装業界で必要となる基礎知識を幅広く学びます。	高年齢者校・30名・(1.9)

募集科目一覧

Ⅲ 高等学校卒業程度の基礎学力のある方が対象のコース（学力検査）※前頁からの続き

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
1 年	ア パ レ ル パ タ ン ナ ー	ファッションに対し消費者は、高品質・付加価値の高い商品と多様化・個性化された商品を求めている現在、グローバル化された業界では、広範な知識と高度な技能をもった優秀な人材が求められています。当科はアパレルメーカーへの就職を目指し、婦人服のパターンメイキング・アパレルCADシステム・工業用縫製に重点をおき、婦人服の製造に必要な企画・調査分析・デザイン・生産管理などアパレル全般の基礎知識を学び、パターンメーカーや商品企画者が必要とする実践的技能的の習得を目指します。	城東センター・29名・（1.5）
	製 ぐ つ	東京都は全国でも有数の革製はきもの製造業の集積地であり、当校は日本で唯一の製靴に関する公共職業訓練を実施しています。製くつ科は、1年間の訓練で、革製紳士靴と婦人靴の企画、製甲、底付けなど、革靴製造工程の基本的な知識と技術・技能を学びます。	台東分校・21名・（2.2）

< 授業料等無料の科目（※） >

※教科書代は自己負担です。また、作業服代等の自己負担が一部の科目にあります。
入校選考料はかかりません。

訓練時間
午前9時05分～午後4時45分（土・日・祝日休み）

Ⅰ 若年者向けコース（就業経験がない又は少ない方で、原則30歳未満の方が対象のコース）（筆記試験）

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
1 年	U - 3 0 溶 接	社会経験が浅く就業経験の少ない若年者を対象とする本科では、将来、充実した職業生活が送れるよう「社会人としての就業基礎」と「溶接に関する知識・技能」を習得するための訓練を行います。社会人に必要な就業基礎を身につける職業人育成では、「作業体験」や「職場体験」などにより就業に対する意識を高め、社会人に求められる「ビジネスマナー」「コミュニケーション能力」などの基礎を学びます。溶接の実習においては、金属を電気エネルギーや熱エネルギーを用いて接合する基本的な溶接技法を身に付け、ものづくりに必要な金属加工を幅広く学びます。また、製品製作を通してより実践的な溶接作業の知識と技能、溶接の周辺技能（CAD、ロボット操作など）を習得します。	多摩センター・10名・（0.5）
	U-30トータルバイント	社会経験が浅く就業経験の少ない若年者を対象とする本科では、将来、充実した職業生活が送れるよう「社会人としての就業基礎」と「塗装に関する知識・技能」を習得するための訓練を行います。社会人に必要な就業基礎を身につける職業人育成実習では、「作業体験」や「職場体験」などにより就業に対する意識を高め、社会人に求められる「ビジネスマナー」「コミュニケーション能力」などの基礎を学びます。また、塗装の訓練においては、金属塗装・木工塗装・建築塗装の各種塗装作業の基本を学ぶとともに、就職進路に応じて、より実践的な塗装作業の知識と技能を習得することができます。	城東センター・9名・（0.8）
	U - 3 0 建 築 塗 装	社会経験が浅く就業経験の少ない若年者を対象とする本科では、将来、充実した職業生活が送れるよう「社会人としての就業基礎」と「建築塗装に関する知識・技能」を習得するための訓練を行います。社会人に必要な就業基礎を身につける職業人育成プログラムでは、「作業体験」や「職場体験」などにより就業に対する意識を高め、社会人に求められる「ビジネスマナー」「コミュニケーション能力」などの基礎を学びます。また、塗装の訓練においては、建築塗装・木工塗装・金属塗装の各種塗装作業の基本を学び、応用として建築塗装に関連する防水作業、足場の組立て・解体作業、高圧水洗浄作業なども訓練に取り入れることで、就職先で必要とされる各種塗装作業の知識と技能を習得することができます。	城南センター・6名・（0.1）
4か月	エ ン ジ ニ ア 基 礎 養 成	3DCADや3Dプリンター、工作機械などを使った「ものづくり」の訓練を通して、開発から製造までの一連の流れを学び、ものづくり企業への就職を目指すことを目的とした科目です。実習を主体としたものづくり訓練と、就業に必要な知識を習得する訓練を組み合わせています。当科は、30歳未満の方を対象としており、未経験の方が楽しみながら着実にステップアップできる訓練内容です。 ※当科では、面接試験のみ実施します。	城東センター・10名・（0）

Ⅱ 義務教育修了程度の学力がある方が対象のコース（筆記試験）

ハローワークから「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律施行規則」による受講指示を受けた方のうち、母子家庭のお母さん等の求職者の方の優先枠を設置しています。
一覧表内○数字は優先枠数です。（雇用保険受給対象者は除きます。）

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
6か月	デ ジ タ ル ク ラ フ ト	製造業では、技術の進歩から、NC工作機械（デジタル制御で動く工作機械）による加工が主流となってきています。当科では、短期間でNC加工機械の取り扱いと、3D測定機や3Dプリンタなどのデジタルツールを活用し、将来の技術に対応できる技術者を育成します。	大田校・25名・（0.2）③
	板 金 溶 接	金属製品は、図面を基に材料を切断し、曲げ工程や、溶接等を用い、組み立てて完成させます。当科では、ステンレス鋼などの材料を用いて、CAD・CAM操作やレーザー切断、曲げなどの板金加工や、各種溶接法を学び、製品製作技能を習得します。薄板の加工を中心とした「ものづくり」に必要な知識と技能を基本から学べます。	大田校・15名・（0.1）②
	溶 接	金属を切断して、形を造り、組立て、溶かして付ける溶接技術は、金属機械製造やビル建設、レインボーブリッジ、東京スカイツリー、新幹線、ロケット製造等ものづくりを支える無くてはならない重要な技術です。当科では、鉄をはじめステンレス鋼やアルミニウム合金などの金属の溶接に必要な基本の知識と技能について学び、将来の溶接技術者に成り得る人材の養成に目標をおき、総合的な溶接の実務的技能者を育てます。	城東センター・15名・（0.4）②
	三 次 元 C A D	製品の設計や開発を行う企業では、プランから製品化まで一元的にデータを共有する3DCADが不可欠のツールになっています。また、製品データは2次元から3次元への移行が進み、3Dプリンタでの試作やCAD/CAM/CAEで活用されています。当科では、製造業で用いられるハイエンド3DCADソフト(CATIA V5)を使用し、部品の作成、組立、2D図面への変換、解析などの基本操作を中心とした実習を行います。この他、機械製図、機械工学概論、工業数理等を学び、機械設計者のアシストや各種機械製造の分野に従事することを目指します。	板橋校・30名・（0.5）③ 多摩センター・30名・（0.6）③

募集科目一覧

Ⅱ 義務教育修了程度の学力がある方が対象のコース（筆記試験）※前頁からの続き

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
6か月	プラスチック成形・デザイン	プラスチック製品は、日用品から工業分野まで幅広く利用されている。自動車や航空産業では、軽量化を目的として、プラスチック材への転換が進んでいる。当科では、射出成形基本技術、プラスチック材料に関する環境学習、樹脂製品の装飾などを行う2次加工技術、デジタルツールを用いて成形現場の品質管理に必要な知識や技術を得得します。さらに、成形用金型の構造を理解しながら、3次元CADや3Dプリンタなどのデジタル製造技術を身に付けることができます。	板橋校・25名・（0.1）③
	住宅内外装仕上	私たちの豊かな住環境をつくるためには、人々の目に触れる仕上部分が重要です。その中でも建築の内外装はとても身近な部分であり、近年新素材の開発に伴い様々な施工方法が取り入れられています。住宅内外装仕上科では、建築物の仕上に関する下地から仕上までの一連の建築仕上施工について、タイル・左官・内装を中心とした実習主体の訓練により幅広い知識と技能を得得できます。	城東センター・10名・（0.5）①
	マンション改修施工	東京都民の多くが暮らすマンション等共同住宅のストックは、年々増加傾向にあります。これらの住宅は定期的に改修・修繕工事をしなければ快適な生活を送ることができません。私たちの身近なマンションを適正に維持していくためには、改修・修繕工事をおこなう技術者、技能者が必要です。当科では、マンション共用部の大規模修繕工事、専有部のマンションリフォーム工事で必要な知識、施工手順を得得することを目的としています。	城南センター・15名・（0.3）②
	住宅リフォーム	住宅の長寿命化が進む中で、環境技術導入や様々なライフステージへの対応など、今後増加が見込まれるリフォーム需要に、的確に応える人材が求められています。住宅リフォーム科では、実技主体の訓練により、木造戸建住宅や集合住宅のリフォームに必要な「施工」及び「施工管理」に関する知識と技能を身につけ、良質な住宅リフォームを行う人材の育成を目的としています。	多摩センター・15名・（1.5）②
	グリーンエクステリア	当科では、建物の外部環境を総合的に造ったり、管理していく仕事に就こうとしている方を対象に、基礎的な知識や技能を身につけるための一連の作業を経験することができます。緑を増やし、育てていくためのプロを目指すために、植物をはじめとした造園材料や庭園等の施工技術、樹木剪定や刈込み作業といった維持管理方法、また、外構実習として、ブロック・レンガの組積、左官や舗装などについての広範な知識と技能を学びます。更に、過密化した都市において重要性を増している屋上緑化等の建築物への緑化技法についても取り組みます。	江戸川校・15名・（0.7）②
	造園土木施工	都市には、公園緑地、街路樹、住宅への外構アプローチ・庭などさまざまな外部環境が存在しています。これらは、人々にやすらぎやうるおいを与えると共に、都市の環境改善や防災機能があり、私たちの生活の中で、なくてはならないものとなっています。造園土木は、緑の空間を創造する仕事として、社会全般に求められています。造園土木施工科では、緑の空間等外部環境を創造するプロを目指すため、実習を通して基礎・ブロック塀工事・竹垣・植栽工事、剪定・刈り込みなど植栽管理、屋上緑化や造園工事と幅広い知識と技能を学びます。また、修了後は、造園技能士や一定の実務経験を経た後に施工管理技士の資格を取得することにより、造園土木関連会社の第一線で活躍することができます。	多摩センター・20名・（0.7）②
	配管	建築物には給排水設備や空調設備などが設けられています。快適な住環境で過ごすためには、これらの設備が正しく施工されていることが必要です。しかし、現場では高齢化が進み、人材不足が深刻な問題となっています。今後、耐震化が進む給排水設備や気候変動によりさらに重要性が高まる空調設備等の施工を担う人材の育成は急務です。当科では実践的な訓練を通じ、現場で必要な施工技術や知識を基礎から習得することを目的としています。	城南センター・15名・（0.2）②
	建築設備施工	建築物には、給排水設備（水やお湯）、衛生設備（大小便器、洗面器、風呂等）、空調設備（冷暖房等）が設置されています。これらの設備によって、私たちは快適な環境で生活することが出来ます。当科では、これらの設備を建築物に設置するために必要な施工の技術・技能を基礎から習得することを目的としています。	城東センター・30名・（0.2）③
	建築C A D	建築関連業界ではコンピューターを利用して図面を描くC A Dが一般的になり、建築に関する知識とC A Dの操作ができる人材が求められています。建築C A D科では、建築製図に必要な学科と実技基礎知識とC A D操作を学び、建築関連の図面作成に関する知識と技能を得得することができます。	赤羽校・30名・（1.3）③
	電気・通信工事	情報化社会の進展によって快適な生活が実現される中、電気技術および通信技術は、日常生活における重要なインフラ設備を支えています。これにより高度化する情報化社会を支えるため、確かな知識と技術を持った人材の育成が急務となっています。この科目では、電気技術と通信技術について学ぶとともに、実験や実習を通じて、就業に必要な知識と技術を身に付けることが出来ます。訓練は、電気を初めて学ぶ方を対象に、関連する国家資格の取得を目標として、電気の基礎理論から始め、実務に必要な配線・施工・保守および電話・通信回線設備に関する知識と技術が習得できる内容になっています。就業に際しては実務経験に近い訓練内容とそれに伴う資格が評価されるなど、まきしく就職に結びつく確かな技能の習得を実感できる訓練内容といえます。	府中校・30名・（0.7）③

募集科目一覧

Ⅱ 義務教育修了程度の学力がある方が対象のコース（筆記試験）※前頁からの続き

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
6か月	セキュリティサービス	防災設備や防犯設備は、ビルなどの建物には必要不可欠な設備です。当科では、電気の基本及び防災・防犯設備の施工・点検に関する知識技能並びにビルなどの建築設備に関する知識を習得します。また、第二種電気工事士、消防設備士乙種第4類（自動火災報知設備）、消防設備士乙種第6類（消火器）など、関連する資格の受験対策も行います。	府中校・30名・（0.2）③
	ビルクリーニング管理	ビルクリーニング管理科とは、ビル等の建物を美しく保つと同時に、建物利用者のために快適で清潔な環境作りに必要なビルクリーニングやメンテナンスの知識と技能、そしてマネジメントについて学ぶ訓練です。ビルクリーニングの業務範囲は広く、事務室や廊下の管理、窓ガラスの洗浄、ホテルの客室整備から建物内の環境測定、保安防災及び害虫駆除等々あらゆる分野が含まれます。このため作業従事者がビル形態に合わせて画一的な作業ができるよう計画立案するのが責任者の重要な任務になります。当科では、現場の責任者となりえる人材の養成に目標を置き、この一連の知識と技能を修得するために基本から学ぶことができます。	高年齢者校・30名・（0.3）③
	電 気 設 備 管 理	ビルが安心、安全、快適なビル環境を稼働するためには、設備を維持・管理する必要があります。当科では、ビルの電気設備を中心に、空調設備、給排水衛生設備等の構造・運転・保守について習得します。電気・設備に関して、全く知識のない方でも大丈夫です！入学後は全て基礎から授業を行います。	城東センター・16名・（0.9）②
	D T P	DTPとは、デスクトップパブリッシング（Desktop Publishing）の略で、コンピュータを利用して印刷物のデータを作成することです。DTP科ではWindowsパソコンを使用し、雑誌やマニュアル、辞書などのページ数がある印刷データを作成します。そのために必要となる、印刷の知識や日本語ルールおよび組版・図形・画像アプリケーションの操作などの技術・知識を習得します。	中央・城北センター・30名・（0.6）③
	メディアプロモーション	デジタル産業の進化により、情報伝達はテレビ・雑誌・新聞といった従来のメディアから、Web・動画・SNSなどのメディアが主流となっています。当科では、従来の印刷メディアに加え、Web・動画・SNSなど様々なメディアの特徴を学ぶことにより、企画・プロモーション・マーケティング、メディア制作等の分野において、最適解の企画・提案ができる人材の育成を目指します。	中央・城北センター・30名・（0.7）③
	ネ ッ ト ワ ー ク 施 工	現在では、企業や家庭を問わずあらゆる場面で、コンピュータはネットワークに接続されて使われています。これらのネットワークを支えているのがネットワークエンジニアと呼ばれる人たちです。当科ではネットワークエンジニアをめざして訓練を行います。LAN配線の施工実習、スイッチやルータといった機器の設定実習を経て、ネットワークの構築技術・技能を習得します。また、今後さらなる展開が見込まれるIP電話の技術や、ネットワークの運用管理技術等についても、幅広く学習します。ネットワークエンジニアとして活躍するには、ネットワーク技術に加えて、コミュニケーション能力も求められるため、訓練はグループ活動を中心として進めていきます。	府中校・30名・（0.4）③
	介 護 サ ー ビ ス	令和5年、我が国の高齢化率は29.1%に上昇し、要援助者の生活を支援する制度、施策の一層の充実が求められています。私たち介護サービス科は、高齢者・障害者介護に従事しようとする方を対象とした基礎的な職業教育として、対人理解や援助の基本的な知識と理念、専門職としての職務の基本姿勢や知識・技術などを介護教育の基本としています。平成25年度より、医療的ケアがカリキュラムに含まれ、より専門性のある訓練を行っています。	板橋校・15名・（0.8）② 江戸川校・15名・（0.8）② 八王子校・15名・（0.5）② 府中校・15名・（1.0）②
	福 祉 用 具	これから増加する高齢者と介護される人に対応していくために必要となる人材を育成する科目です。福祉用具、介護、福祉住環境および介護・医療事務についての知識を習得するため、多様な福祉用具や介護関連のパソコンソフト等を実際に使用します。福祉用具とは、介護が必要な人が普通の生活環境を求める時に必要なものです。福祉用具といっても生活環境や障がい程度により必要な形や機能は変化します。介護保険などを利用して福祉用具を求める場合には、有資格者（福祉用具専門相談員）の選定提案が必要となります。当科は、福祉用具貸与事業所や介護関連事業所を就職先とした訓練内容です。	八王子校・15名・（0.5）②
	介 護 福 祉 用 具	東京都の予測によると、2035年の東京都の65歳以上人口は370万人（総人口の28.9%）に増加し、介護・福祉に関わる仕事の需要は増加していくことが推測されています。福祉用具は、利用者の生活環境や障害の程度により、必要な形や機能が異なります。このため、利用者が安心して福祉用具を利用できるようにするためには、幅広い専門知識と技術を持った支援者が必要です。当科は、福祉用具の取り扱い・メンテナンス、介護の基本技術、福祉住環境、介護・医療保険等、幅広く学びます。	城東センター・15名・（0.6）②

募集科目一覧

Ⅱ 義務教育修了程度の学力がある方が対象のコース（筆記試験）※前頁からの続き

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
6か月	調 理	給食調理員としての基礎を身に付けることを重点に置いた訓練を行っています。衛生学や食品学も学びつつ、食材の下処理方法や、加熱方法（大量調理機器の操作方法）も学び、計画的に給食を作り上げる訓練を行っています。また、焼く・煮る・揚げる等の調理方法に焦点を当てた実験や、基本的な調理技術訓練も行っています。	大田校・30名・（0.5）③ 多摩センター・30名・（1.0）③
	ホ テ ル ・ レ ス ト ラ ン サ ー ビ ス	ホテルやレストラン等で、フロントサービス及びレストランサービスに従事する人材を養成する科目です。サービス業務に必要な接遇の知識・技法、またレストランや宴会場でのテーブルセッティングや料飲サービスの技法、さらに、ホテルにおけるフロントや客室整備の仕事に必要な知識や技法を習得します。	しごとセンター校・20名・（0.8）②
3か月	クリーンスタッフ養成	クリーンスタッフ養成科は、オフィスビル・マンション・ホテル・商業施設などを美しく保つと同時に、施設利用者のために快適で清潔な環境を提供するため、必要なクリーニングやメンテナンスの知識と技能について学びます。ビルクリーニング作業においては、事務室や廊下、窓ガラスの洗浄など、作業者が建物に合わせた作業ができるよう、知識と技能を基本から学んでいきます。併せて、ハウスクリーニング作業についても学び、家庭用エアコン、住宅のキッチンや浴室、トイレ等専門的な清掃について技術を習得していきます。	江戸川校・20名・（0.5）② 府中校・20名・（0.7）②
	施 設 警 備	百貨店等の大型店舗・大型複合ビル・学校・ホテル・地下商店街等、多種多様な施設における出入管理業務、開閉館業務、監視業務、巡回業務や警報装置等の使用方法など、施設警備員としての必要な実務的知識と技能を学びます。クラスは、人生経験豊かな多種多様な人々が集い、和気あいあいとした雰囲気の中厳しさと秘め、毎日充実した訓練生活をおくっています。	大田校・20名・（0.3）②
	生 活 サ ポ ー ト	当科は、生活を支える様々なサービスを提供するために必要な技術を習得できる科目です。掃除・調理・洗濯などの知識と技術に加え、基礎的な介護の知識を習得することができます。単独世帯、高齢者のみ世帯、共働き世帯、核家族世帯と、生活様式は多様化する傾向にあります。このような変化を、家事代行サービスや、訪問介護による生活支援でサポートする人材を育成します。	しごとセンター校・20名・（0.5）②

Ⅲ おおむね50歳以上で、義務教育修了程度の学力がある方が対象のコース（筆記試験）

訓練時間
午前9時05分～午後4時45分（土日・祝日休み）

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
6か月	庭 園 施 工 管 理	庭園施工管理業務には、植物管理や作庭に関する専門的な知識と伝統的な技能の習得が必要です。そのため当科では、植物や病虫害、土壌などの基本知識について学ぶと共に植物の繁殖、育成管理技法を実習します。さらに、伝統的な作庭手法の基礎的な実技訓練を行い、造園業界の就職に役立てます。	多摩センター・30名・（1.4）
	電 気 設 備 管 理	ビルが安心、安全、快適なビル環境を稼働するためには、設備を維持・管理する必要があります。当科では、ビルの電気設備を中心に、空調調和設備、給排水衛生設備等の構造・運転・保守について習得します。電気・設備に関して、全く知識のない方でも大丈夫です！入校後は全て基礎から授業を行います。	八王子校・20名・（0.6）

募集科目一覧

Ⅲ おおむね50歳以上で、義務教育修了程度の学力がある方が対象のコース（筆記試験）※前頁からの続き

訓練時間
午前9時05分～午後4時45分（土日・祝日休み）

期 間	科 目	科 目 の 概 要	実施センター（校）名・募集人員・（応募倍率）
6か月	ビ ル 管 理	当科では、オフィスビルや商業ビルなどの大型施設等において、お客様が安全で快適に利用できるように、空調・電気・給排水・防災等設備全般の保守管理における技能及び知識を学んでいます。建物の維持管理に必要な資格取得を含め、ビル管理のメンテナンス業務員養成を目指しています。	城東センター・30名・（1.2） 多摩センター・30名・（1.1）
	設 備 保 全	商業施設やオフィスビル、公共施設（上下水道、清掃工場などのライフライン）等を安全に運用するには、設備管理員の存在が欠かせません。設備管理員は、設備管理の専門的な知識と技能の習得、各種国家資格の取得が求められています。設備保全科では、施設の利用者に、安全・安心を提供するための防災・防犯設備や空調・給排水衛生設備・電気設備など、建築設備・各種施設を維持管理するための保全作業を学科・実習を通じて学びます。また、各資格についても当科の訓練において試験対策を行い、皆さまの資格取得をサポートいたします	高年齢者校・30名・（0.5）
	電 気 設 備 保 全	建築物の維持管理を行うには、電気工事士や消防設備士といった専門的な知識に基づく点検や簡易な修繕などの保全作業が必須とされています。当科では、電気設備や衛生設備などの建築付帯設備を含めた建築物の総合的な保全作業について、実習を中心に習得を行うとともに、関連する資格の受験対策をすすめていきます。	赤羽校・30名・（0.5）
3か月	マ ン シ ョ ン 維 持 管 理	建物を長く、美しく使用するためには、適切な維持・管理が重要となります。集合住宅や区分所有住宅については、その所有者が複数に渡り存在することから、建物を維持・管理するためには、専門の管理員が必要となります。マンション維持管理科では、建物や施設の維持・管理についての知識をさまざまな実習をまじえて習得します。加えて管理員は、居住者の外部への「顔」となるため、接遇やマナーも訓練の重要な要素となるため管理員としての接遇マナーについても学習します。	高年齢者校・20名・（0.7）
	生 活 支 援 サ ー ビ ス	高齢者人口の増加に伴い、高齢者単独世帯や高齢者夫婦のみ世帯の介護・生活支援の重要性が高まっています。一方で、女性の有業率は上昇し、夫婦共働き世帯は増加する傾向にあります。このような世帯構成の変化に伴い、介護に関連した生活支援サービスや家庭での家事を担う家事代行サービスなどの活用が注目されています。当科は、生活を支えるサービスを提供するために必要な技術を習得することができる科目です。具体的には、掃除、調理・洗濯等の知識と技能の習得に加え、基本的な介護の知識を習得することができます。	府中校・15名・（0.7）

----- 2024 年 4 月 入 校 生 選 考 問 題 < 学 力 検 査 > -----

- | | | | |
|------|-----------------------------|------------------------|---|
| (例) | (解 答) | (解 答) | (解 答) |
| | $\frac{6}{4} = \frac{3}{2}$ | $\sqrt{8} = 2\sqrt{2}$ | $\frac{1}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}}{2}$ |
| (採点) | (×) (○) | (×) (○) | (×) (○) |

(国語)

(数 学)

(1) $17 \times 37 =$ (6) $7^3 + (-3)^4 =$

(2) $345 \div 15 \times 4 =$ (7) $\sqrt{6} \times \sqrt{8} =$

(3) $\frac{5}{7} \times \frac{5}{6} - \frac{2}{7} =$ (8) $4a^3b^2c \times 6ab^2c^3 \div 3a^2bc^3 =$

(4) $\frac{5}{7} - \frac{5}{6} + \frac{2}{7} =$ (9) 不等式 $18x - 18 > 5x + 47$ の解を求めなさい。

(5) $39.6 \div 2.4 =$ (10) 方程式 $x^2 - 2x - 48 = 0$ のとき、
 x ($x \geq 0$) の値を求めなさい。

$$\begin{array}{l} 1 = 1 \\ 1 - 2 = -1 \\ 1 - 2 + 3 = 2 \\ 1 - 2 + 3 - 4 = -2 \\ 1 - 2 + 3 - 4 + 5 = 3 \\ \vdots \\ 1 - 2 + 3 - 4 + 5 \cdot \cdot \cdot + 4045 - 4046 + 4047 \end{array}$$

(国 語)

問題 1 各 6 点	問題 2 各 2 点	問題 3 各 2 点																														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(1)</td><td style="width: 90%;">エ</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(2)</td><td>ア</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(3)</td><td>オ</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(4)</td><td>イ</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(5)</td><td>長期滞在</td></tr></table>	(1)	エ	(2)	ア	(3)	オ	(4)	イ	(5)	長期滞在	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(1)</td><td style="width: 90%;">へいてん</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(2)</td><td>こうぼう</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(3)</td><td>かいこん</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(4)</td><td>ふがく</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(5)</td><td>めいかい</td></tr></table>	(1)	へいてん	(2)	こうぼう	(3)	かいこん	(4)	ふがく	(5)	めいかい	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(1)</td><td style="width: 90%;">獣 医</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(2)</td><td>秀 作</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(3)</td><td>概 略</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(4)</td><td>企 業</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(5)</td><td>昆 虫</td></tr></table>	(1)	獣 医	(2)	秀 作	(3)	概 略	(4)	企 業	(5)	昆 虫
(1)	エ																															
(2)	ア																															
(3)	オ																															
(4)	イ																															
(5)	長期滞在																															
(1)	へいてん																															
(2)	こうぼう																															
(3)	かいこん																															
(4)	ふがく																															
(5)	めいかい																															
(1)	獣 医																															
(2)	秀 作																															
(3)	概 略																															
(4)	企 業																															
(5)	昆 虫																															

(数 学)

問題 1 各 2 点	問題 2 6 点	問題 3 6 点						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(1)</td><td style="width: 90%;">629</td></tr></table>	(1)	629	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(6)</td><td style="width: 90%;">424</td></tr></table>	(6)	424	420 円		
(1)	629							
(6)	424							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(2)</td><td style="width: 90%;">92</td></tr></table>	(2)	92	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(7)</td><td style="width: 90%;">$4\sqrt{3}$</td></tr></table>	(7)	$4\sqrt{3}$	6 cm		
(2)	92							
(7)	$4\sqrt{3}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(3)</td><td style="width: 90%;">$\frac{13}{42}$</td></tr></table>	(3)	$\frac{13}{42}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(8)</td><td style="width: 90%;">$8a^2b^3c$</td></tr></table>	(8)	$8a^2b^3c$	24 通り		
(3)	$\frac{13}{42}$							
(8)	$8a^2b^3c$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(4)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{6}$</td></tr></table>	(4)	$\frac{1}{6}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(9)</td><td style="width: 90%;">$x > 5$</td></tr></table>	(9)	$x > 5$	17 度		
(4)	$\frac{1}{6}$							
(9)	$x > 5$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(5)</td><td style="width: 90%;">16.5</td></tr></table>	(5)	16.5	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(10)</td><td style="width: 90%;">$x = 8$</td></tr></table>	(10)	$x = 8$	2024		
(5)	16.5							
(10)	$x = 8$							
問題 4 6 点	問題 5 6 点	問題 6 6 点						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(11)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(11)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(12)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(12)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(13)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(13)	$\frac{1}{2}$
(11)	12							
(12)	$\frac{1}{2}$							
(13)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(14)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(14)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(15)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(15)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(16)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(16)	$\frac{1}{2}$
(14)	12							
(15)	$\frac{1}{2}$							
(16)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(17)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(17)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(18)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(18)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(19)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(19)	$\frac{1}{2}$
(17)	12							
(18)	$\frac{1}{2}$							
(19)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(20)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(20)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(21)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(21)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(22)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(22)	$\frac{1}{2}$
(20)	12							
(21)	$\frac{1}{2}$							
(22)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(23)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(23)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(24)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(24)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(25)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(25)	$\frac{1}{2}$
(23)	12							
(24)	$\frac{1}{2}$							
(25)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(26)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(26)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(27)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(27)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(28)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(28)	$\frac{1}{2}$
(26)	12							
(27)	$\frac{1}{2}$							
(28)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(29)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(29)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(30)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(30)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(31)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(31)	$\frac{1}{2}$
(29)	12							
(30)	$\frac{1}{2}$							
(31)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(32)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(32)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(33)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(33)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(34)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(34)	$\frac{1}{2}$
(32)	12							
(33)	$\frac{1}{2}$							
(34)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(35)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(35)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(36)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(36)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(37)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(37)	$\frac{1}{2}$
(35)	12							
(36)	$\frac{1}{2}$							
(37)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(38)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(38)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(39)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(39)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(40)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(40)	$\frac{1}{2}$
(38)	12							
(39)	$\frac{1}{2}$							
(40)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(41)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(41)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(42)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(42)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(43)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(43)	$\frac{1}{2}$
(41)	12							
(42)	$\frac{1}{2}$							
(43)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(44)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(44)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(45)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(45)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(46)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(46)	$\frac{1}{2}$
(44)	12							
(45)	$\frac{1}{2}$							
(46)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(47)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(47)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(48)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(48)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(49)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(49)	$\frac{1}{2}$
(47)	12							
(48)	$\frac{1}{2}$							
(49)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(50)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(50)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(51)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(51)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(52)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(52)	$\frac{1}{2}$
(50)	12							
(51)	$\frac{1}{2}$							
(52)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(53)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(53)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(54)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(54)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(55)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(55)	$\frac{1}{2}$
(53)	12							
(54)	$\frac{1}{2}$							
(55)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(56)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(56)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(57)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(57)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(58)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(58)	$\frac{1}{2}$
(56)	12							
(57)	$\frac{1}{2}$							
(58)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(59)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(59)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(60)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(60)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(61)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(61)	$\frac{1}{2}$
(59)	12							
(60)	$\frac{1}{2}$							
(61)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(62)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(62)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(63)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(63)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(64)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(64)	$\frac{1}{2}$
(62)	12							
(63)	$\frac{1}{2}$							
(64)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(65)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(65)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(66)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(66)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(67)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(67)	$\frac{1}{2}$
(65)	12							
(66)	$\frac{1}{2}$							
(67)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(68)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(68)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(69)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(69)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(70)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(70)	$\frac{1}{2}$
(68)	12							
(69)	$\frac{1}{2}$							
(70)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(71)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(71)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(72)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(72)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(73)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(73)	$\frac{1}{2}$
(71)	12							
(72)	$\frac{1}{2}$							
(73)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(74)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(74)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(75)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(75)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(76)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(76)	$\frac{1}{2}$
(74)	12							
(75)	$\frac{1}{2}$							
(76)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(77)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(77)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(78)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(78)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(79)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(79)	$\frac{1}{2}$
(77)	12							
(78)	$\frac{1}{2}$							
(79)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(80)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(80)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(81)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(81)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(82)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(82)	$\frac{1}{2}$
(80)	12							
(81)	$\frac{1}{2}$							
(82)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(83)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(83)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(84)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(84)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(85)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(85)	$\frac{1}{2}$
(83)	12							
(84)	$\frac{1}{2}$							
(85)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(86)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(86)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(87)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(87)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(88)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(88)	$\frac{1}{2}$
(86)	12							
(87)	$\frac{1}{2}$							
(88)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(89)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(89)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(90)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(90)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(91)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(91)	$\frac{1}{2}$
(89)	12							
(90)	$\frac{1}{2}$							
(91)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(92)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(92)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(93)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(93)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(94)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(94)	$\frac{1}{2}$
(92)	12							
(93)	$\frac{1}{2}$							
(94)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(95)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(95)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(96)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(96)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(97)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(97)	$\frac{1}{2}$
(95)	12							
(96)	$\frac{1}{2}$							
(97)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(98)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(98)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(99)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(99)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(100)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(100)	$\frac{1}{2}$
(98)	12							
(99)	$\frac{1}{2}$							
(100)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(101)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(101)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(102)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(102)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(103)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(103)	$\frac{1}{2}$
(101)	12							
(102)	$\frac{1}{2}$							
(103)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(104)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(104)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(105)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(105)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(106)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(106)	$\frac{1}{2}$
(104)	12							
(105)	$\frac{1}{2}$							
(106)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(107)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(107)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(108)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(108)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(109)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(109)	$\frac{1}{2}$
(107)	12							
(108)	$\frac{1}{2}$							
(109)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(110)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(110)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(111)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(111)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(112)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(112)	$\frac{1}{2}$
(110)	12							
(111)	$\frac{1}{2}$							
(112)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(113)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(113)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(114)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(114)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(115)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(115)	$\frac{1}{2}$
(113)	12							
(114)	$\frac{1}{2}$							
(115)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(116)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(116)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(117)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(117)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(118)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(118)	$\frac{1}{2}$
(116)	12							
(117)	$\frac{1}{2}$							
(118)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(119)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(119)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(120)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(120)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(121)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(121)	$\frac{1}{2}$
(119)	12							
(120)	$\frac{1}{2}$							
(121)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(122)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(122)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(123)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(123)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(124)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(124)	$\frac{1}{2}$
(122)	12							
(123)	$\frac{1}{2}$							
(124)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(125)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(125)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(126)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(126)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(127)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(127)	$\frac{1}{2}$
(125)	12							
(126)	$\frac{1}{2}$							
(127)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(128)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(128)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(129)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(129)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(130)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(130)	$\frac{1}{2}$
(128)	12							
(129)	$\frac{1}{2}$							
(130)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(131)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(131)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(132)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(132)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(133)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(133)	$\frac{1}{2}$
(131)	12							
(132)	$\frac{1}{2}$							
(133)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(134)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(134)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(135)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(135)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(136)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(136)	$\frac{1}{2}$
(134)	12							
(135)	$\frac{1}{2}$							
(136)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(137)</td><td style="width: 90%;">12</td></tr></table>	(137)	12	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(138)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(138)	$\frac{1}{2}$	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(139)</td><td style="width: 90%;">$\frac{1}{2}$</td></tr></table>	(139)	$\frac{1}{2}$
(137)	12							
(138)	$\frac{1}{2}$							
(139)	$\frac{1}{2}$							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 10%; text-align: center;">(140)</td></tr></table>	(140)							
(140)								

2025年1月入校生選考問題＜筆記試験＞

・ 受験上の注意：試験時間は国語・数学両方で30分です。

・ 解答上の注意

1. 国語：漢字の読みはひらがなで書いてください。送り仮名のついた解答は不正解とします。
2. 数学：分数・平方根の解答については、最後まで約分等がされていないものは不正解にします。

(例) (解 答) (解 答) (解 答)
 $\frac{6}{4} = \frac{3}{2}$ $\sqrt{8} = 2\sqrt{2}$ $\frac{1}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}}{2}$
(採点) (×) (○) (×) (○) (×) (○)

解答に根号(√)や円周率(π)を含む場合は、平方根や円周率を展開しないでください。

(国 語)

1 次の _____ 線部の漢字の読みを **ひらがな** で書きなさい。

- (1) 厳 格 (6) 恩 恵 (11) 差 伐
(2) 勤 勉 (7) 執 務 (12) 免 状
(3) 至 近 (8) 喫 煙 (13) 裁 縫
(4) 穀 倉 (9) 趣 旨 (14) 充 満
(5) 縁 故 (10) 動 揺 (15) 窮 地

2 次の _____ 線部のカタカナを **漢字** で書きなさい。

- (1) ヒボン な才能
(2) ガラスの ハヘン
(3) ビミョウ な判定
(4) ジュヨウ と供給
(5) ゼント 多難を覚悟する
(6) 任務を スイコウ する
(7) ソウガン 鏡で速くの様子を見る
(8) 空気には チツン が含まれる
(9) テイタイ した景気が向上く
(10) テツヤ で勉強する

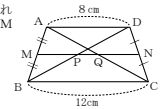
(数 学)

1 次の計算をしなさい。ただし、(5)、(6)は小数で、(7)は分数で求めなさい。

- (1) $67+356=$
(2) $51-247=$
(3) $32 \times 77=$
(4) $403 \div 31=$
(5) $16.7+27.8=$
(6) $4.7 \times 6.8=$
(7) $\frac{2}{5} + \frac{7}{20} =$
(8) $2\sqrt{3} \times 3\sqrt{6} =$
(9) $4b^2c^4 \times 3a^3b^2 \div 6a^3b^3c^2 =$
(10) $x^2 - x - 42 = 0$ のとき、 x ($x \geq 0$) の値を求めなさい。

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 半径16cm、中心角 80° のおうぎ形と、半径 r cm、中心角 160° のおうぎ形があります。この2つのおうぎ形の弧の長さが等しいとき、半径 r は何cmですか。
(2) あるイベントの参加者に1個200円のサンドウィッチと1杯120円のコーヒーを1つずつ配ると、合計の費用は10880円でした。このとき、参加者は何人ですか。ただし、消費税は考えないものとします。
(3) 連続する3つの正の偶数があります。最小の偶数と最大の偶数の積が252でした。このとき、中央の偶数はいくつですか。
(4) 9本のくじの中に3本の当たりくじが入っています。この中から1本ずつ2回続けてひくとき、2本とも当たる確率を分数で求めなさい。ただし、ひいたくじは元にもどさないものとします。
(5) 右図のような、台形ABCDがあります。点M、Nはそれぞれ辺AB、辺CDの中点とし、対角線DB、ACと直線MNの交点をそれぞれP、Qとします。AD=8cm、BC=12cmのとき、PQの長さは何cmですか。



模 範 解 答

国語1 各2点

(1)	げんかく	(6)	おんけい	(11)	らんぱつ
(2)	きんべん	(7)	しつむ	(12)	めんじょう
(3)	しきん	(8)	たんそく	(13)	さいほう
(4)	こくそう	(9)	しゅし	(14)	じゅうまん
(5)	えんこ	(10)	どうよう	(15)	きゅうち

国語2 各2点

(1)	非 凡	(6)	遂 行
(2)	破 片	(7)	双 眼
(3)	微 妙	(8)	窒 素
(4)	需 要	(9)	停 滞
(5)	前 途	(10)	徹 夜

数学1 各3点

(1)	423
(2)	-196
(3)	2464
(4)	13
(5)	44.5
(6)	31.96
(7)	$\frac{3}{4}$
(8)	$18\sqrt{2}$
(9)	$2bc^2$
(10)	$x=7$

数学2 各4点

(1)	8	cm
(2)	34	人
(3)	16	
(4)	$\frac{1}{12}$	
(5)	2	cm

受験 科 名	科	受験 番 号	
氏 名		国語得点	数学得点

ハローワーク（公共職業安定所）所在地一覧

ハローワーク（公共職業安定所）				
所 名	電話番号	所 在 地	最 寄 駅	管 轄 区 域
飯 田 橋	03-3812-8609（43#）	〒112-8577 文京区後楽1-9-20	JR飯田橋 徒歩5分	千代田区、中央区、文京区、島しょ
上 野 (令和6年8月26日移転)	(移転前) 03-3847-8609	〒110-8609 台東区東上野4-1-2	JR上野 徒歩5分	台東区
	(移転後) 03-3837-8600	〒110-8609 台東区東上野2-7-5 偕楽ビル（東上野Ⅱ）2 階	JR上野 徒歩7分 東京メトロ上野 徒歩5分	
品 川	03-5418-7309	〒108-0014 港区芝5-35-3	JR田町 徒歩3分	港区、品川区
大 森	03-5493-8609（42#）	〒143-8588 大田区大森北4-16-7	JR大森 徒歩8分	大田区
渋谷	03-3476-8609（43#）	〒150-0041 渋谷区神南1-3-5	JR渋谷 徒歩10分	渋谷区、世田谷区、目黒区
新 宿 ※	<西新宿庁舎> 03-5325-9593（43#）	〒163-1523 新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワービル 23階	JR新宿 徒歩3分	新宿区、中野区、杉並区
	<歌舞伎町庁舎> 03-3200-8609	〒160-8489 新宿区歌舞伎町2-42-10	西武新宿線 西武新宿 徒歩1分	
	<新宿わかものハローワーク> 03-5909-8609	〒160-0023 新宿区西新宿1-7-1 松岡セントラルビル9階	JR新宿 徒歩3分	
池 袋 ※	<サンシャイン庁舎> 03-5911-8609（45#）	〒170-6003 豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 3階	JR池袋 徒歩10分	豊島区、板橋区、練馬区
	<池袋庁舎> 03-3987-8609	〒170-8409 豊島区東池袋3-5-13		
王 子	03-5390-8609（42#）	〒114-0002 北区王子6-1-17	地下鉄南北線 王子神谷 徒歩7分	北区
足 立	03-6680-8808	〒120-8530 足立区千住1-4-1 東京芸術センター 6～8階	JR北千住 徒歩6分	足立区、荒川区
墨 田	03-5669-8609（47#）	〒130-8609 墨田区江東橋2-19-12	JR・地下鉄 半蔵門線 錦糸町 徒歩4分	墨田区、葛飾区
木 場	03-3643-8609（42#）	〒135-8609 江東区木場2-13-19	地下鉄東西線 木場 徒歩3分	江東区、江戸川区
八 王 子	042-648-8609（42#）	〒192-0904 八王子市子安町1-13-1	JR八王子 徒歩3分	八王子市、日野市
立 川	042-525-8616	〒190-8609 立川市緑町4-2 立川地方合同庁舎 1～3階	JR立川 徒歩10分	立川市、国立市、小金井市、昭島市、小平市、東村山市、国分寺市、東大和市、武蔵村山市
青 梅 ※	<本庁舎> 0428-24-8609（43#）	〒198-0042 青梅市東青梅3-12-16	JR東青梅 徒歩6分	青梅市、福生市、あきる野市、羽村市、西多摩郡
	<分庁舎> 0428-24-8609	〒198-0042 青梅市東青梅3-20-7		
三 鷹	0422-47-8609（42#）	〒181-8517 三鷹市下連雀4-15-18	JR三鷹 徒歩14分	三鷹市、武蔵野市、西東京市、東久留米市、清瀬市
町 田 ※	<本庁舎> 042-732-8609（42#）	〒194-0022 町田市森野 2-28-14 町田合同庁舎 1 階	小田急線町田 徒歩 10分 JR町田 徒歩 13分	町田市
	<森野ビル庁舎> 042-732-8609	〒194-0022 町田市森野1-23-19 小田急町田森野ビル 2 階	小田急線町田 徒歩 5分 JR町田 徒歩 8分	
府 中	042-336-8609（42#）	〒183-0045 府中市美好町1-3-1	京王線府中 徒歩7分	府中市、稲城市、多摩市、調布市、狛江市

※新宿、池袋、青梅、町田は一般・障害者・学卒等で窓口が異なります。

※お問い合わせは、お住まいを管轄するハローワークへお願いします。（主として都内の別のハローワークで求職活動を行う方はご相談ください。）

職業能力開発センター 所在地一覧

職業能力開発センター				
校 名	電話番号	郵便番号	所 在 地	最 寄 駅
中央・城北職業能力開発センター	03-5800-2611	112-0004	文京区後楽 1-9-5	都営大江戸線 飯田橋駅C2 徒歩1分 JR総武線・東京メトロ 飯田橋駅 徒歩5分
しごとセンター校	03-5211-8181	102-0072	千代田区飯田橋 3-10-3 東京しごとセンター(10～12階)	JR総武線・東京メトロ・都営大江戸線 飯田橋駅 徒歩7分 JR総武線 水道橋駅 徒歩7分 東京メトロ 九段下駅 徒歩10分
高 年 齢 者 校	03-3227-5951	169-0073	新宿区百人町3-25-1 サンケンビルディング	JR中央線・総武線 大久保駅北口 徒歩8分 JR山手線 新大久保駅 徒歩10分
板 橋 校	03-3966-4131	174-0041	板橋区舟渡 2-2-1	JR埼京線 浮間舟渡駅 徒歩3分
赤 羽 校	03-3909-8333	115-0056	北区西が丘 3-7-8	JR埼京線 十条駅 徒歩15分 都営三田線 板橋本町駅 徒歩12分
城南職業能力開発センター	03-3472-3411	140-0002	品川区東品川 3-31-16	りんかい線 品川シーサイド駅出口A 徒歩2分 京浜急行線 青物横丁駅 徒歩10分
大 田 校	03-3744-1013	144-0042	大田区羽田旭町10-11	京急空港線 穴守稻荷駅 徒歩7分 京急空港線 天空橋駅 徒歩9分
城東職業能力開発センター	03-3605-6140	120-0005	足立区綾瀬 5-6-1	東京メトロ千代田線 綾瀬駅西口 徒歩8分 つくばエクスプレス 青井駅A2 徒歩12分
江 戸 川 校	03-5607-3681	132-0021	江戸川区中央 2-31-27	JR総武線新小岩駅北口から 都バス葛西駅、東京臨海病院行 大杉小学校前下車 徒歩2分 JR総武線新小岩駅南口から 都バス西葛西駅行、葛西駅行 江戸川区役所前下車 徒歩8分
台 東 分 校	03-3843-5911	111-0033	台東区花川戸 1-14-16 3・4階	東京メトロ銀座線 浅草駅 徒歩8分 東武スカイツリーライン 浅草駅 徒歩5分 都営浅草線 浅草駅 徒歩12分 つくばエクスプレス 浅草駅 徒歩10分
多摩職業能力開発センター	042-500-8700	196-0033	昭島市東町 3-6-33	JR青梅線 西立川駅 徒歩7分
八 王 子 校	042-622-8201	193-0931	八王子市台町 1-11-1	JR中央線 八王子駅 徒歩18分 京王線 山田駅 徒歩15分 JR中央線八王子駅南口からバス 法政大学行（富士森公園経由） 上大船行（山田駅経由）、 東京家政学院行（山田駅経由） 西八王子駅南口行 実践高校又は富士森公園下車 各徒歩5分
府 中 校	042-367-8201	183-0026	府中市南町 4-37-2	京王線 中河原駅 徒歩10分
東京障害者職業能力開発校	042-341-1411	187-0035	小平市小川西町 2-34-1	西武国分寺線・西武拝島線 小川駅 徒歩3分

求職者支援制度による

職業訓練受講給付金のご案内

雇用保険を受給できない方が、ハローワークの支援指示により職業訓練を受講し、一定の要件を満たす場合に、「職業訓練受講給付金」が支給される制度があります。受給を希望する方は住所を管轄するハローワーク（裏面一覧参照）で、事前に相談をした上で入校の申し込みをしてください。

（※令和6年4月1日時点の内容となります。要領改正により、内容が変更になることがあります。）

職業訓練受講給付金の支給額

職業訓練受講手当 月額10万円

通所手当 職業訓練実施施設までの通所経路に応じた所定の額（上限額あり）

寄宿手当 月額10,700円

※1「職業訓練受講給付金」は、支給単位期間（原則1か月）ごとに支給します。

支給単位期間とは、原則訓練開始日を起算日として1か月ごとに区切った個々の期間のことを指します。

※2 支給単位期間における「職業訓練受講給付金」の対象となる日数が28日未満の場合は、支給額を別途算定します。

※3 通所手当は、最も経済的かつ合理的と認められる通常の通所経路・方法による運賃または料金の額となります。

なお、職業訓練受講手当の支給要件（下記②及び③）を満たしていない場合であっても、収入が一定要件以下（本人収入12万円以下、世帯収入34万円以下）で下記その他の支給要件を満たす方は、支給される場合があります。

※4 寄宿手当は、訓練を受けるため同居の配偶者などと別居して寄宿する場合で、ハローワークが必要性を認めた方が対象となります。

職業訓練受講給付金の支給要件

（次の要件を全て満たすことが必要です。）

① 雇用保険被保険者ではない、また雇用保険の求職者給付を受給できない方

② 本人収入が支給単位期間ごとに8万円以下（※1）

③ 世帯全体の収入が支給単位期間ごとに30万円以下（※1、2）

④ 世帯全体の金融資産が300万円以下（※2）

⑤ 現在住んでいるところ以外に土地・建物を所有していない

⑥ 全ての訓練実施日に出席している（※3）

（やむを得ない理由がある場合でも、支給単位期間ごとに8割以上（※4）出席している）

⑦ 訓練期間中から訓練終了後、定期的にハローワークに来所し職業相談を受ける方

⑧ 世帯の中に同時にこの給付金を受給して訓練を受けている人がいない（※2）

⑨ 過去にこの給付金を受給したことがある場合は、前回の受給から6年以上経過している（※5）

⑩ 過去3年以内に、偽りその他不正の行為により、特定の給付金の支給を受けたことがない

※1「収入」とは、税引前の給与などの他、年金その他全般的収入を指します（一部算定対象外の収入もあります）。

※2「世帯」とは、本人のほか、同居または生計を一つにする別居の配偶者、子、父母が該当します。

※3「出席」とは、訓練実施日に全てのカリキュラムに出席していることをいいます。ただし、やむを得ない理由により訓練に遅刻・欠課・早退した場合で、1日の総時限（コマ）数のうち、半分以上の時限に出席している場合は、1/2日出席として取り扱います（時限ごとの出席は、その時限の全ての時間に出席していることが必要です）。

※4「8割以上」の出席とは、支給単位期間ごとに訓練実施日数から欠席した日数と「1/2日出席」した日数を控除して出席日数を算定（端数が生じた場合は切り捨て）し、支給単位期間ごとに訓練実施日数に占める当該出席日数の割合が8割以上であることを指します。

なお、育児・介護を行う方については、やむを得ない理由以外の理由による欠席がある場合であっても出席率が8割以上あれば不支給とならず、やむを得ない理由以外の理由により欠席した日分を減額して支給します。

※5 求職者支援訓練の基礎コースに続けて求職者支援訓練の実践コース又は公共職業訓練を受ける場合は6年以内でも対象となる場合があります。

支援指示を受け公共職業訓練を受講するためには、訓練実施施設による選考合格後、居住地（職業訓練受講給付金の受給を希望される方は住所）を管轄するハローワーク（※裏面一覧参照）で「就職支援計画書」の交付を受ける必要があります。この就職支援計画に基づき、毎月指定された来所日（訓練期間中から訓練終了3か月後まで）に就職支援計画書の交付を受けたハローワークに出向き、職業相談を受ける必要があります（職業訓練受講給付金の支給申請を行う方はこの日に手続きを行います）。

一度でも訓練を欠席（遅刻・欠課・早退を含む）したり（やむを得ない理由を除く）ハローワークの就職支援を拒否すると、職業訓練受講給付金が不支給となるばかりでなく、これを繰り返すと訓練期間の初日に遡って職業訓練受講給付金の返還命令等の対象となります。

求職者支援資金融資

職業訓練受講給付金に加えて、希望する方は、労働金庫（ろうきん）の融資制度（求職者支援資金融資）を利用することができます。貸付の上限額は、同居又は生計を一つにする別居の配偶者等のいる方は月10万円、それ以外の方は、月5万円です。返済免除はありません。

職業訓練受講給付金または求職者支援資金融資は、求職者支援制度以外の他の給付や融資等を受けていることを理由として、支給が停止または減額されることはありません（収入・資産要件を満たさなくなる場合を除く）。ただし、他の制度において、支給（融資等）が停止または減額される可能性がありますのでご注意ください。

特に、生活保護または生活福祉資金（総合支援資金）貸付による給付（融資等）を受けている（または受けようとする）方は、実施主体である自治体等にご相談ください。